



ALMETAX

室内窓

取扱説明書・施工説明書

お施主様保存用

保証書付き

このたびは、室内窓をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 施工前、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、正しく安全に施工、ご使用ください。
- 説明書に記載されていない方法や部品で施工したことによる事故や損害については、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 施工記録表は「工事店名、設置年月日」などの記入をお確かめください。
- この商品は日本国内専用品です。

もくじ

施工説明編

安全上のご注意	2
製品構成表	3
同梱部品	4
製品納まり図	5
施工手順	7

取扱説明編

安全上のご注意	18
お手入れ	19
製品保証書	裏表紙

施工説明編

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっており、誤った方法で作業を行うと、けがや傷・破損につながるおそれがあります。本書を必読の上、専門知識を有する、業者様が作業を行ってください。

安全上のご注意

施工者の安全と使用者の安全を確保するための注意事項です。必ずお読みになってから、正しく安全に施工してください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意

傷害や財産損害が発生するおそれがある内容

お守りいただく内容を次の図記号で説明



してはいけない内容



実行しなければならない内容

設置場所について



警告



屋外や過酷な条件（高温・多湿、寒冷、油分が多いなど）には設置しない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。本製品は屋内専用品のため、水や風の通過を防ぐ機能はありません。



吹き抜け部・中2階・ロフトには設置しない

落下し、けがや破損のおそれがあります。



片側もしくは両側に壁面がない場所に設置しない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。本製品は壁面に設置する仕様です。



注意



キッチンコンロやヒーターなどの熱源周辺には設置しない

火災のおそれがあります。本製品に防火・耐火性能はありません。



浴室内部など、頻繁に水分と接する場所には設置しない

予期せぬ損害を招くおそれがあります。



開き窓の下端が1200mm以上になるように設置する

小さなお子様の衝突など、事故につながります。

施工について



注意



コンクリートやモルタル(床面)に直付けしない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



開き窓のフリクションステーに潤滑剤や洗剤を塗布しない

障子を任意の位置で固定できなくなるおそれがあります。



本書記載以外の修理・改造・分解はしない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



製品の施工方法については、必ず施工説明書に従う

けがや破損のおそれがあります。施工後は、本書をお客様にお渡しください。



事故防止のため施工は必ず専門業者がおこなう

落下し、けがや破損のおそれがあります。



製品の施工は内壁材(石こうボードなど)の施工前におこなう

内壁材を先に施工すると、本製品の施工ができません。



取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれの無いことを確認する

取付開口部の精度が悪いと、製品本来の機能を発揮させることができません。

その他お願い

●製品が破損、変形しないように取り扱いには十分注意してください。

⚠ 注意

- ❗ 製品を一時保管する場合でも壁などに立てかけずに平置きする
製品が倒れてけがや破損のおそれがあります。
- ❗ 保管する場合は日陰で保管する
直射日光にあると製品が熱くなり、火傷のおそれがあります。

その他お願い

- 運搬・輸送時は、投げる・落とす・ぶつけるなど、製品に衝撃を与えないように取扱ってください。傷や破損の原因になります。
- 開梱時に製品の破損や異常がないか確認し、傷つかないように保管してください。

製品構成表 [寸法単位:mm]

下表のイラストについて

※開き窓は段窓の上段にのみ設置可能です。



FIX窓



開き窓

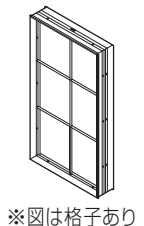
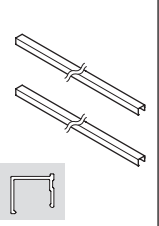
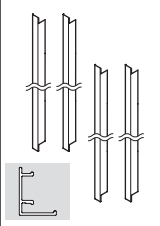
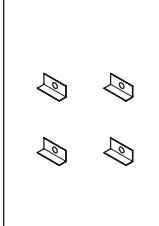
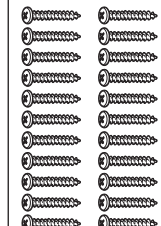

		幅方向			
列数		1列	2列	3列	4列
製品寸法		W560	W1121.5	W1683	W2244.5
高さ方向	H387	<FIX窓> 	 ・同じH寸法の窓×2 ・連結部材セット×1	 ・同じH寸法の窓×3 ・連結部材セット×2	 ・同じH寸法の窓×4 ・連結部材セット×3
	H742	<FIX窓> 	 ・同じH寸法の窓×2 ・連結部材セット×1	 ・同じH寸法の窓×3 ・連結部材セット×2	 ・同じH寸法の窓×4 ・連結部材セット×3
		<開き窓> 			
H1097	<FIX窓> 	 ・同じH寸法の窓×2 ・連結部材セット×1	 ・同じH寸法の窓×3 ・連結部材セット×2	 ・同じH寸法の窓×4 ・連結部材セット×3	

※2～4列は、同じH寸法の窓を自由な組み合わせで並べることが可能です。(上表の組み合わせは一例です。)

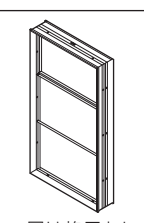
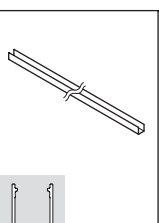
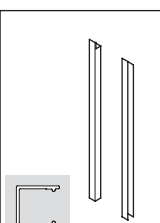
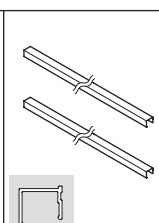
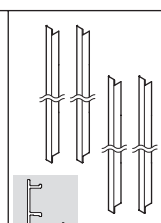
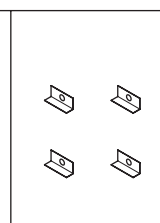
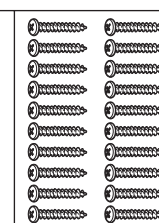
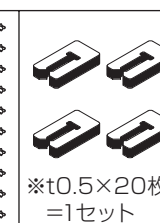
※開き窓のH寸法は、製品Hにかかわらず一定になります。

同梱部品 [寸法単位:mm]

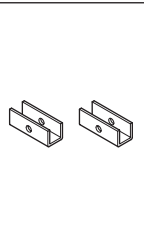
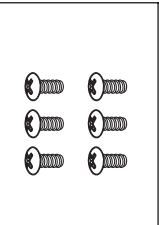
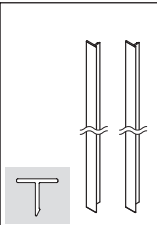
FIX窓

形状	 ※図は格子あり					 ※t0.5×20枚 =1セット
名称	本体	上下カバー	たてカバー	位置決め金具	躯体取付用ねじ	すき間調整スペーサー
数量	1台	2本	4本	4個	22本	4セット

開き窓

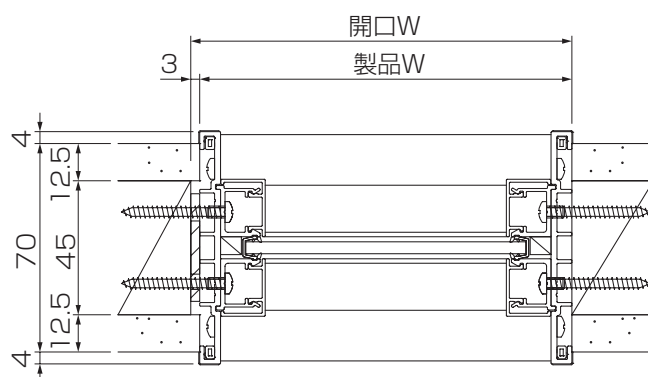
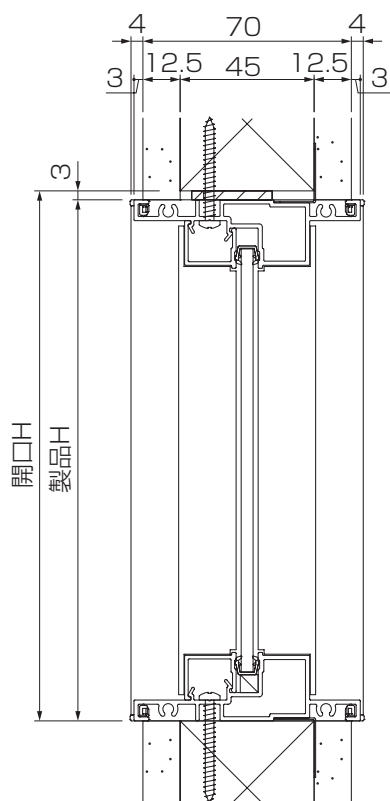
形状	 ※図は格子あり							 ※t0.5×20枚 =1セット
名称	本体	上カバー(開き部)	たてカバーL・R(開き部)	上下カバー(FIX部)	たてカバー(FIX部)	位置決め金具	躯体取付用ねじ	すき間調整スペーサー
数量	1台	1本	2本	2本	4本	4個	22本	4セット

連結部材セット

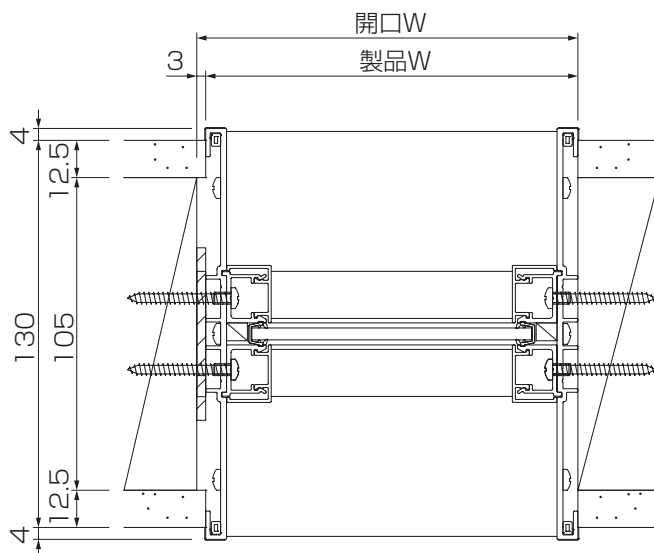
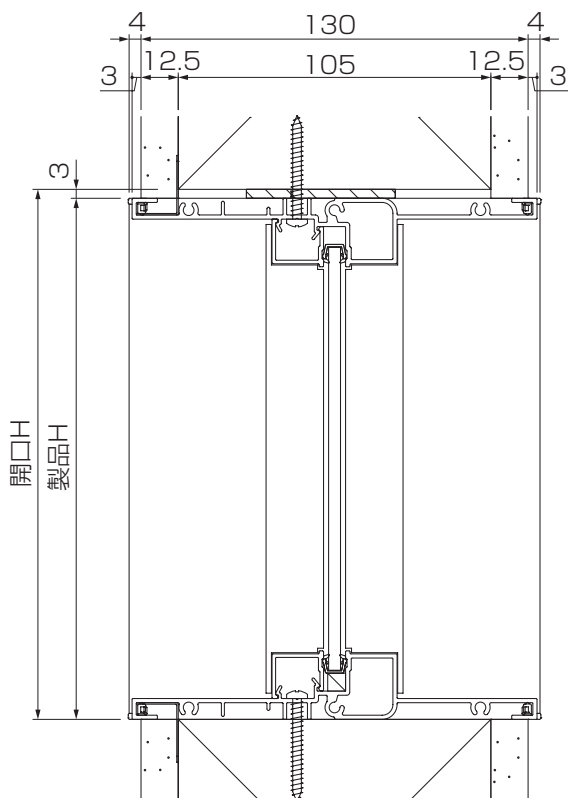
形状			
名称	連結金具	連結用ねじ	連結材
数量	2個	6本	2本

製品納まり図 [寸法単位:mm]

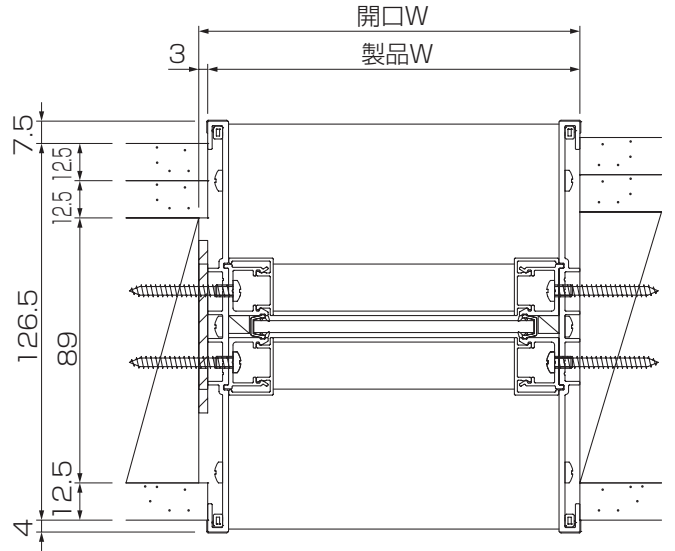
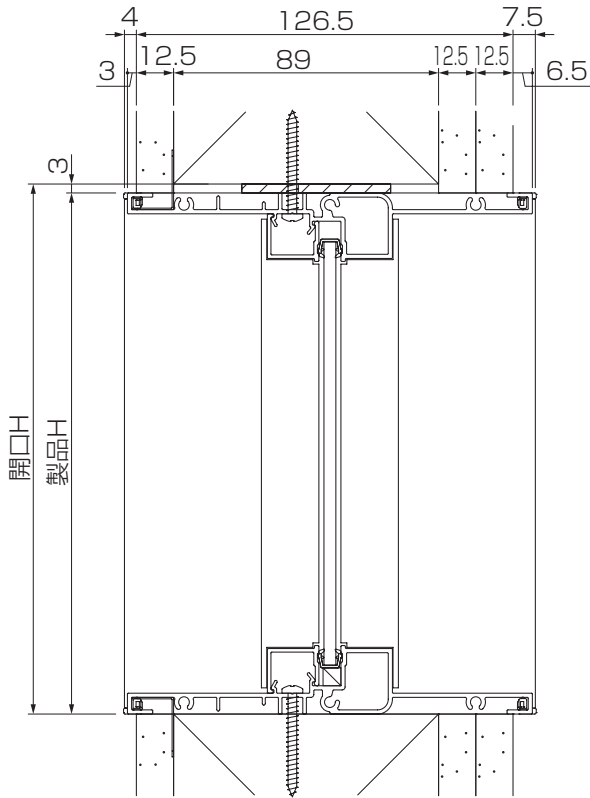
<45mm角柱用 (枠:D70)>



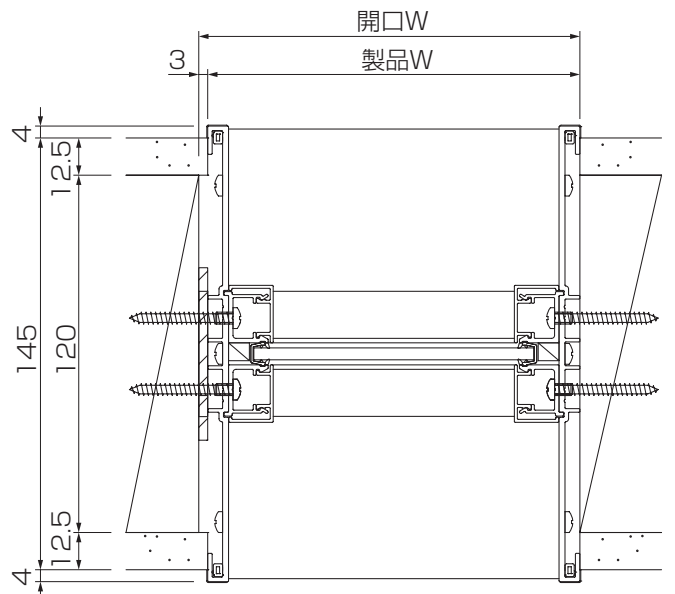
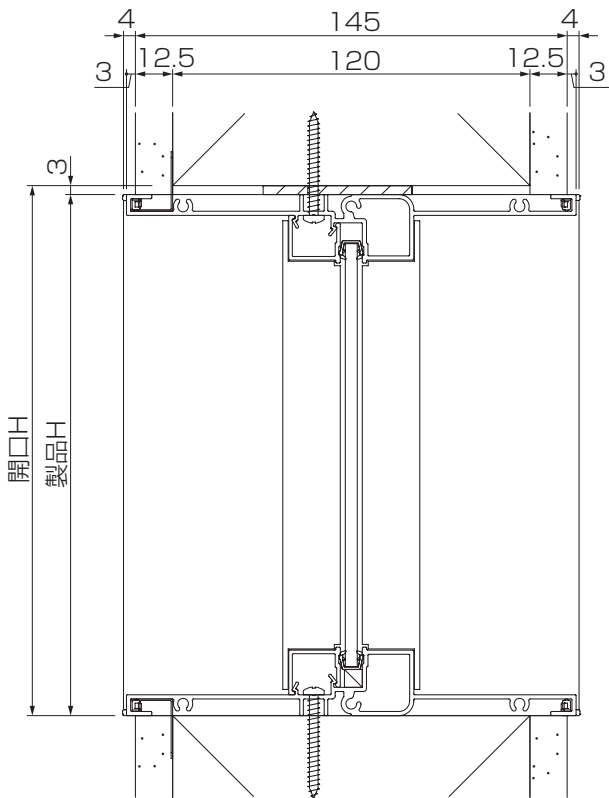
<105mm角柱用 (枠:D130)>



<2×4材用 (枠: D130)>



<120mm角柱用 (枠: D145)>



施工手順 [寸法単位:mm]

※各手順の図の形状は代表例です。

1 開口の確認

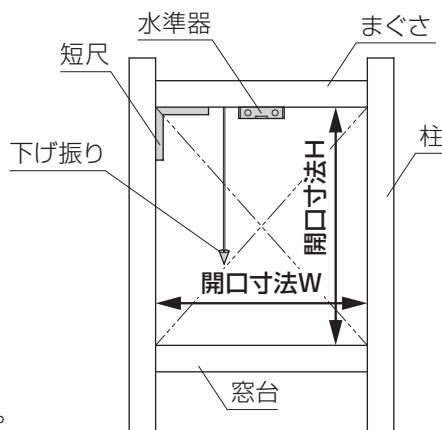
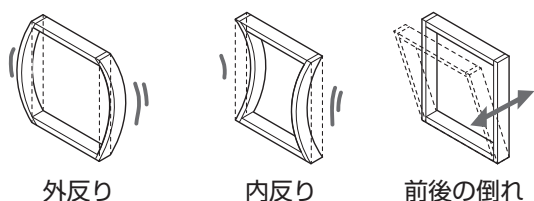
開口寸法は下記の寸法を確保する。

- 開口W：1列の場合…製品W寸法+3mm
連結の場合…製品W寸法+7mm
- 開口H：製品H寸法+3mm

※開口寸法の精度は±2mm以内にしてください。
製品W・H寸法は製品構成表(3ページ)を参照してください。

お願い

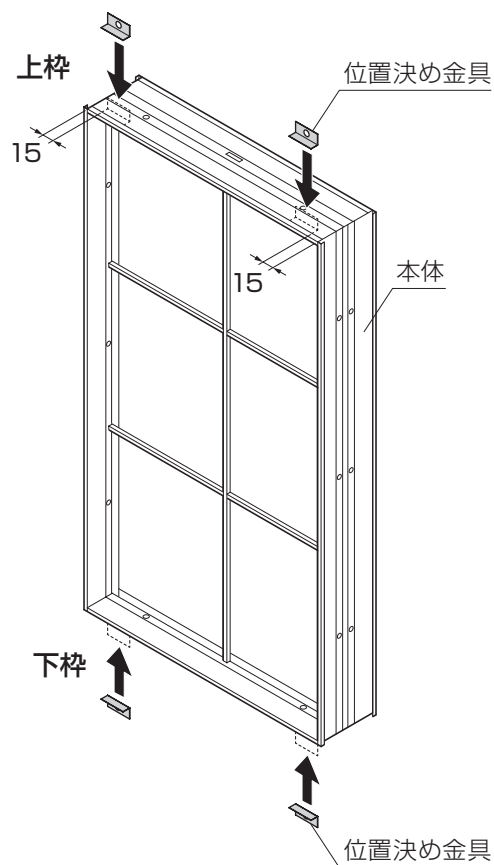
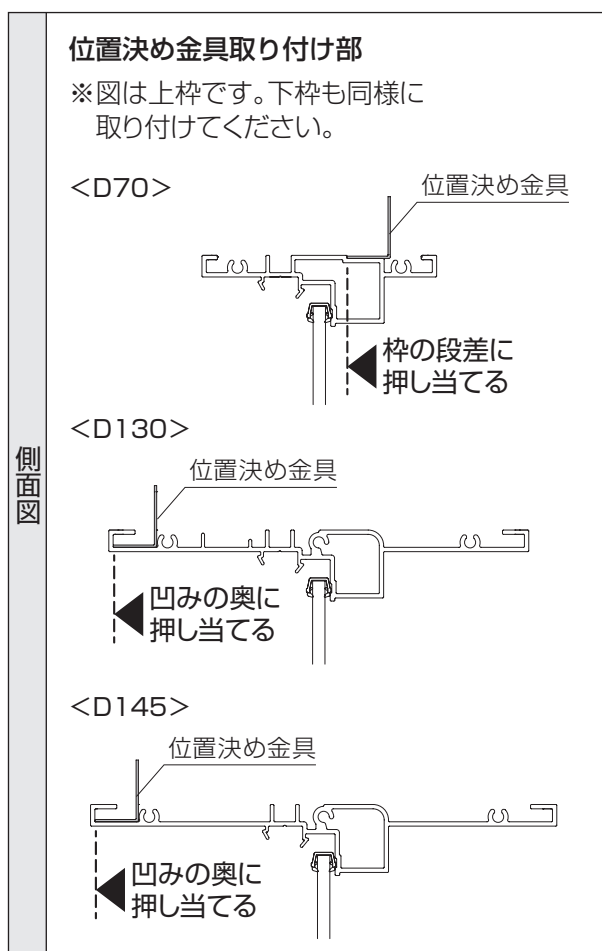
- 本体取付前に必ず柱の垂直・水平が出ているか確認してください。
- 開口部が下図のようにならないようにしてください。



2 位置決め金具の取り付け

本体上下枠の端から15mmの位置に位置決め金具を貼り付ける。(4か所)

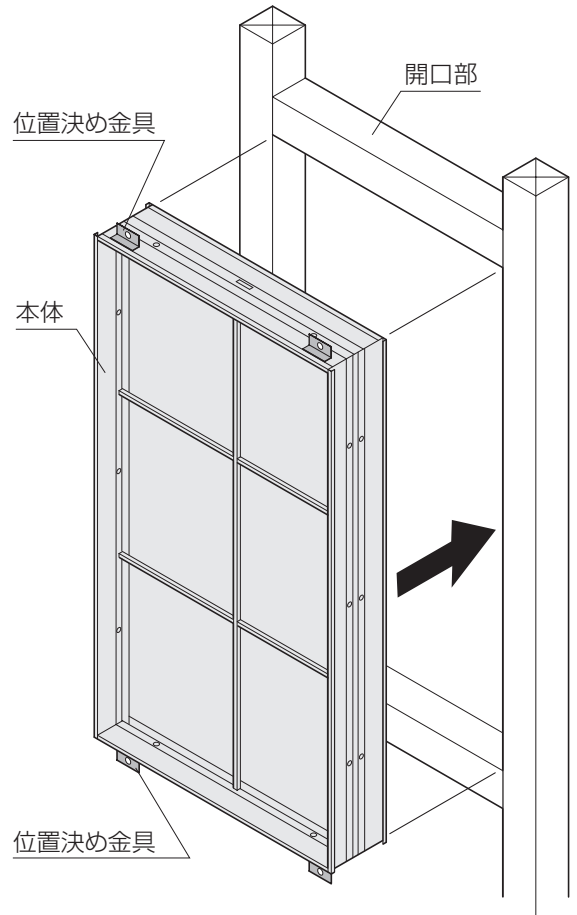
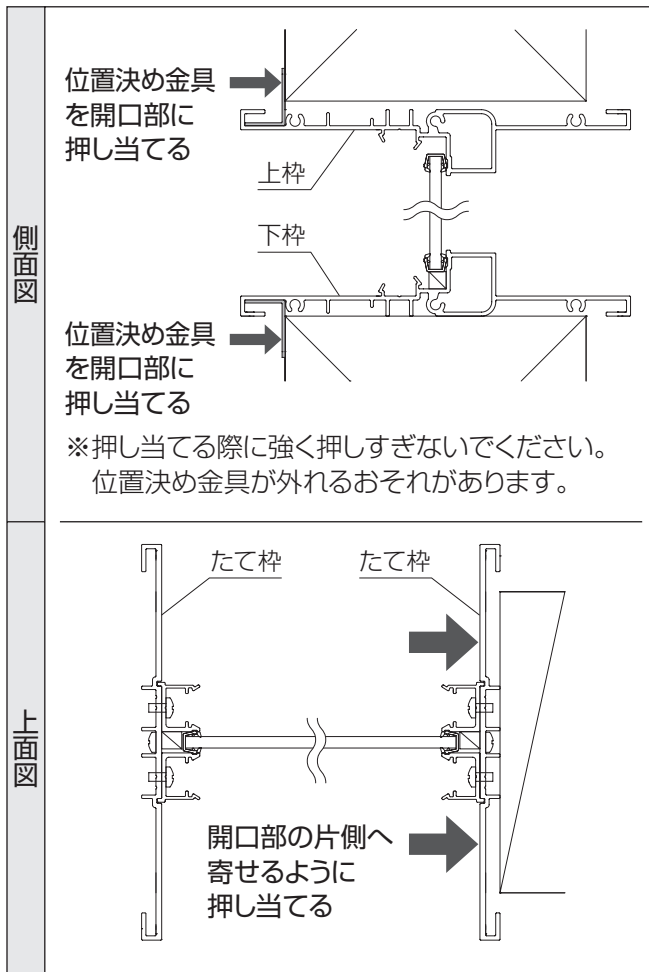
※両面テープでの貼り付けのため、しっかり押さえながら貼り付けてください。



3 枠の取り付け

1列の場合

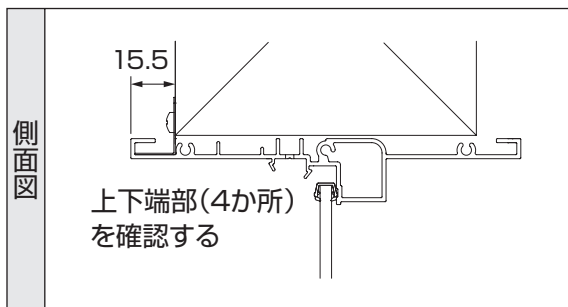
① 本体を開口部に設置する。



② 位置決め金具を開口部にねじ固定する。(4か所)

お願い

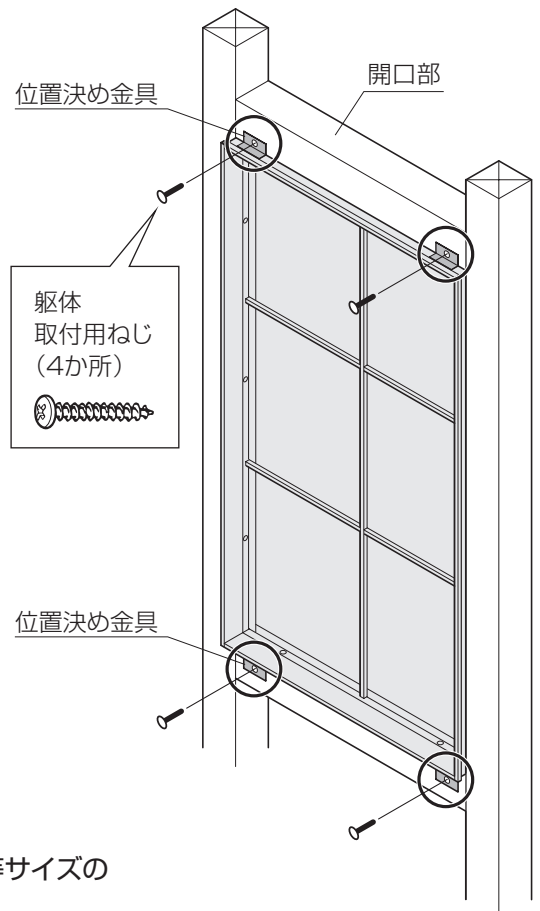
- 下枠・上枠の順に固定してください。
- ※固定後本体上下枠(位置決め金具側)の躯体からの出寸法が、15.5mm(精度±0.5)であることを確認してください。



- 位置決め金具の固定は、本体の仮止めのために行います。そのため、本体固定後の手順④で、位置決め金具の固定ねじは取り外します。

ご注意

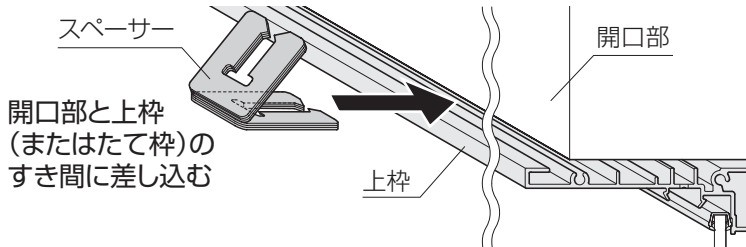
- 躯体が軽量鉄骨の場合は、躯体取付用ねじと同等サイズのドリリングねじ(現地手配)を使用してください。



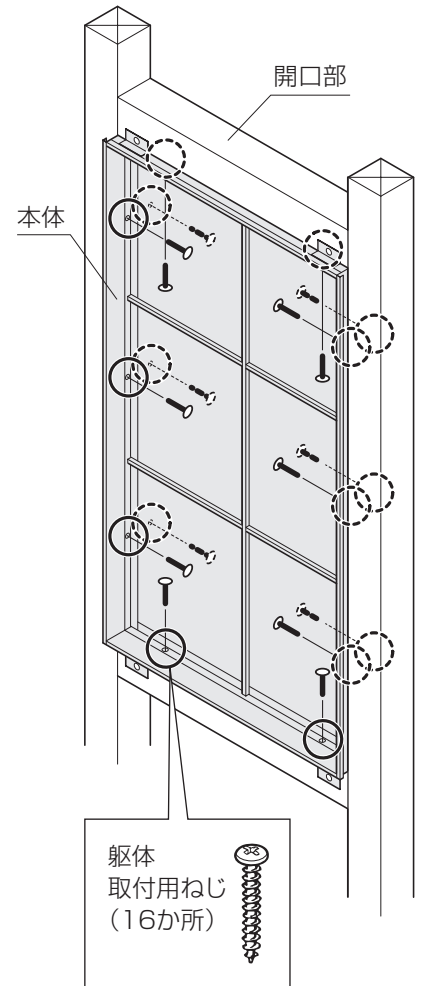
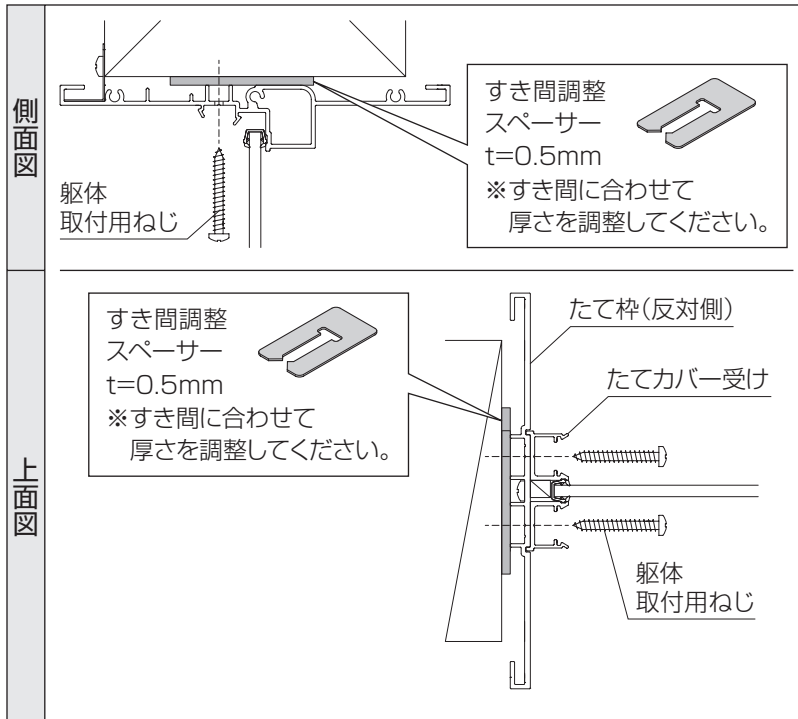
- ③ 本体を開口部にねじ固定する。(上下枠4か所、たて枠12か所)
 ※たて枠の固定数は、Hサイズ、開閉形式によって異なります。

お願い

- 下枠・上枠を固定してから、たて枠(押し当て側)・たて枠(反対側)を固定してください。
- たて枠は、正面側と背面側、両面を固定してください。
- 上枠・たて枠(反対側)と開口部にすき間がある場合は、「すき間調整スペーサー」を差し込んでから固定してください。



※固定の際、締めすぎに注意してください。枠が歪んでしまう場合があります。

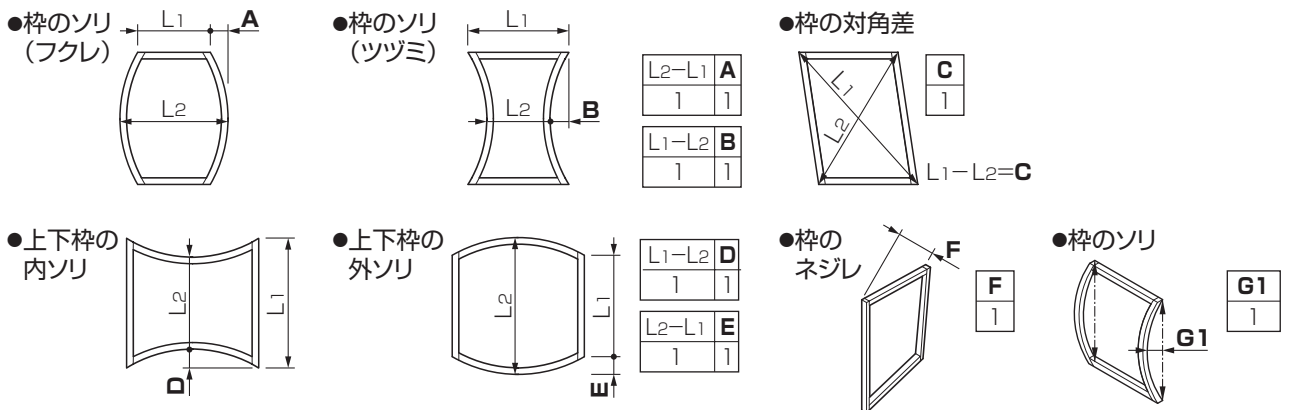


※たてカバー受けに切り欠きがある箇所の穴は使用しないでください。(連結時に使用します。)
 切り欠き

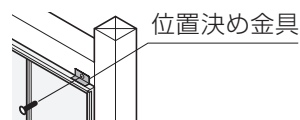
ご注意

- 躯体が軽量鉄骨の場合は、躯体取付用ねじと同等サイズのドリリングねじ(現地手配)を使用してください。

本体取付精度

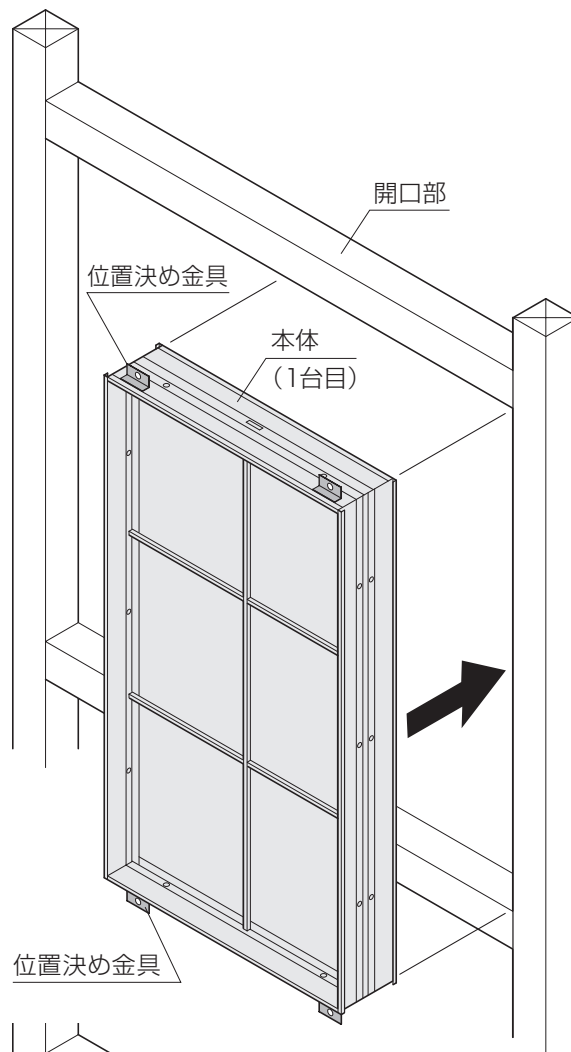
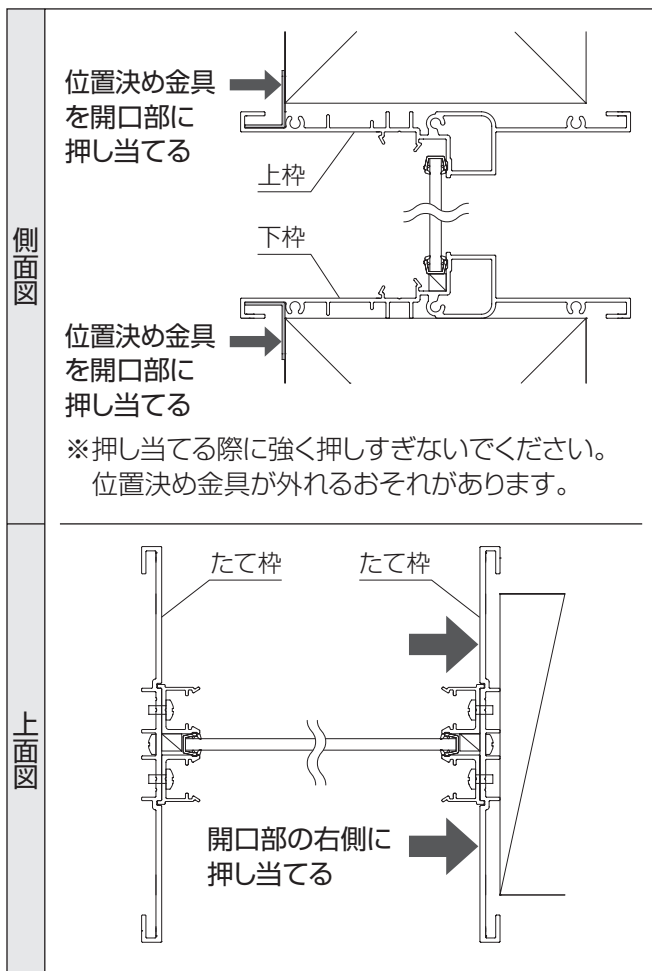


- ④ 仮止めとして固定した位置決め金具のねじを取り外す。(4か所)
 ※取り外さないと、内壁材の施工に影響するおそれがあります。



連窓(2~4列)の場合

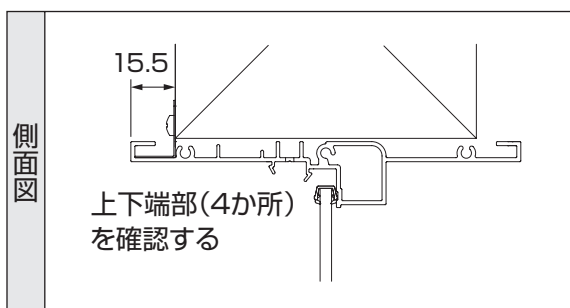
① 1台目の本体を開口部の右側に設置する。



② 位置決め金具を開口部にねじ固定する。(4か所)

お願い

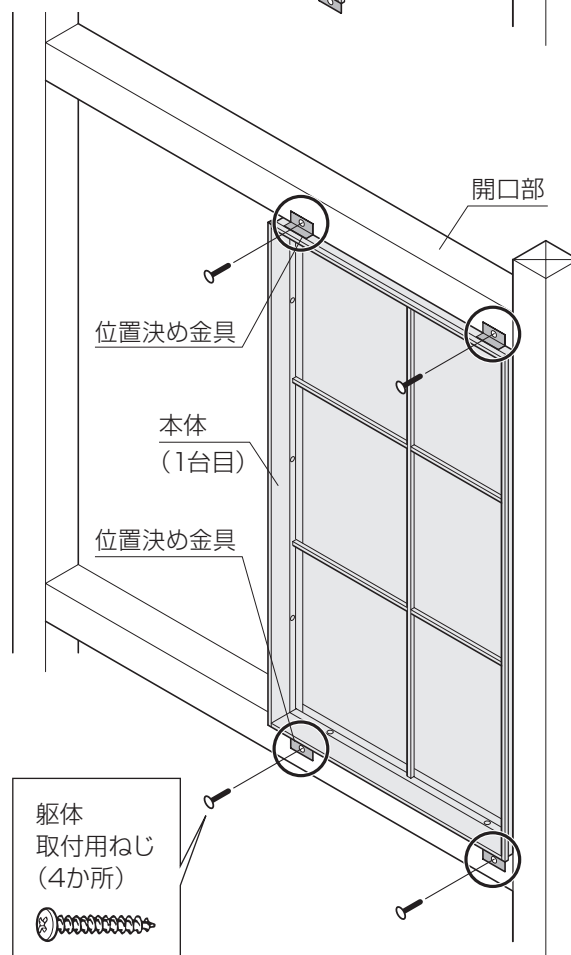
- 下枠・上枠の順に固定してください。
- ※固定後本体上下枠(位置決め金具側)の躯体からの出寸法が、15.5mm(精度±0.5)であることを確認してください。



- 位置決め金具の固定は、本体の仮止めのために行います。そのため、本体固定後の手順⑩で、位置決め金具の固定ねじは取り外します。

ご注意

- 躯体が軽量鉄骨の場合は、躯体取付用ねじと同等サイズのドリリングねじ(現地手配)を使用してください。

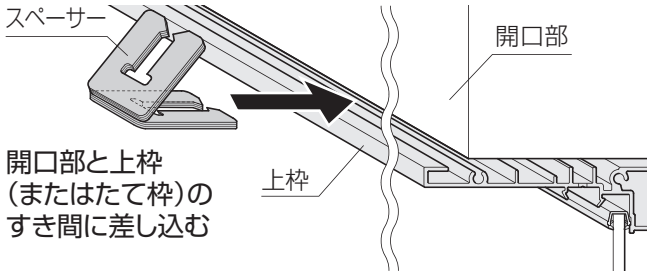


③ 本体を開口部にねじ固定する。(上下枠4か所、右側たて枠6か所)

※たて枠の固定数は、Hサイズ、開閉形式によって異なります。

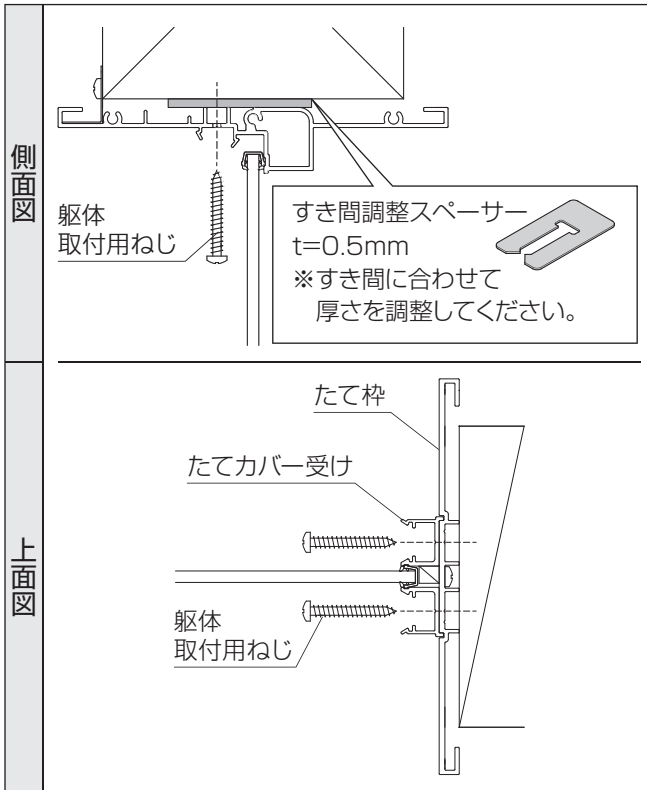
お願い

- 下枠、上枠、たて枠の順に固定してください。
- たて枠は、正面側と背面側、両面を固定してください。
- 上枠と開口部にすき間がある場合は、「すき間調整スペーサー」を差し込んでから固定してください。



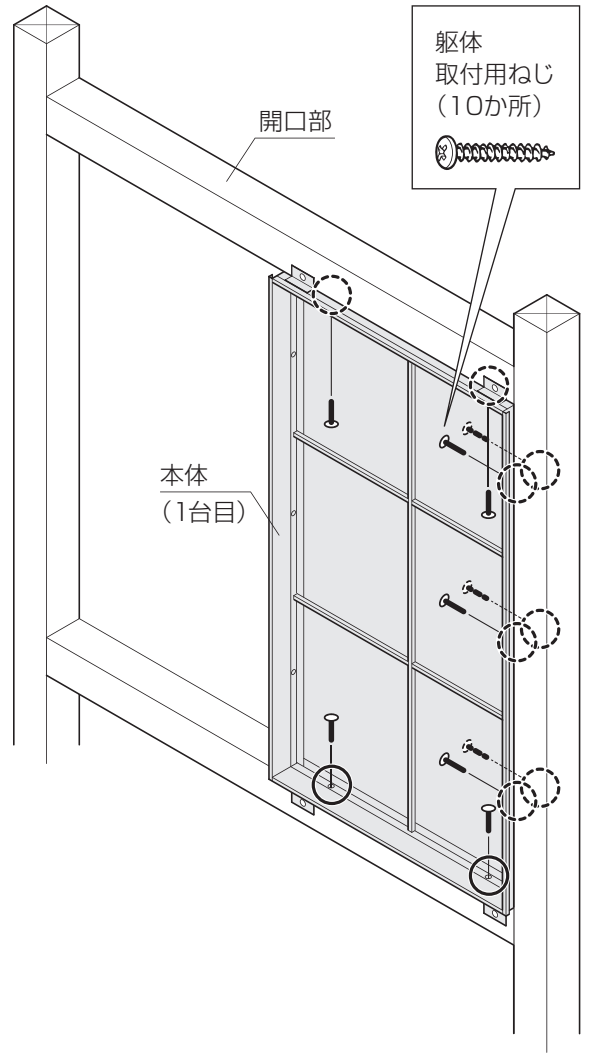
開口部と上枠
(またはたて枠)の
すき間に差し込む

※固定の際、締めすぎに注意してください。
枠が歪んでしまう場合があります。



側面図

上面図



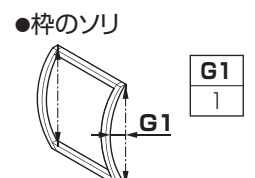
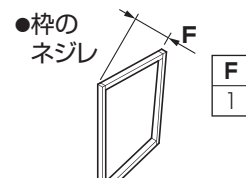
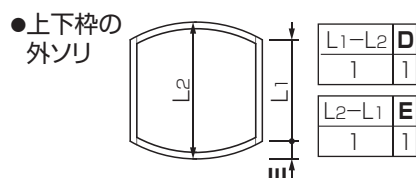
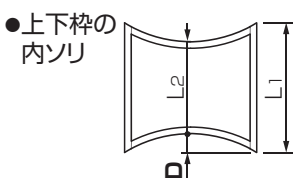
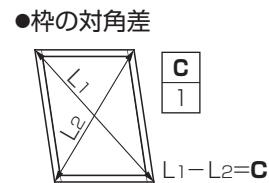
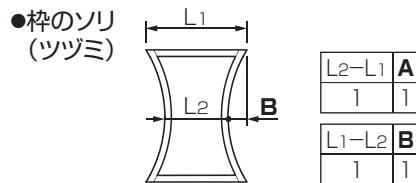
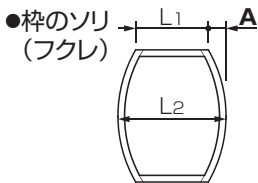
※たてカバー受けに切り欠きがある箇所の穴は使用しないでください。(連結時に使用します。)

切り欠き

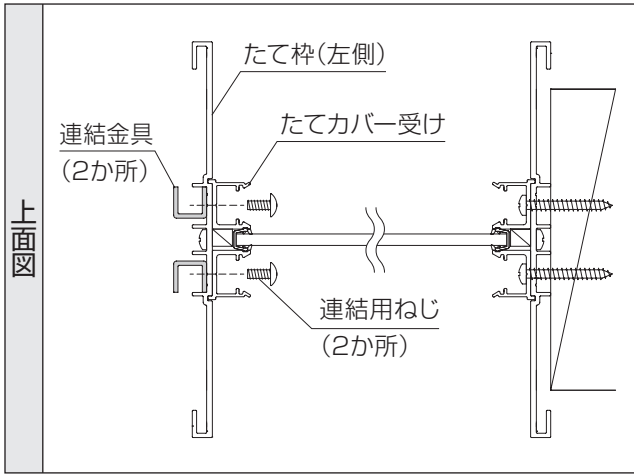
で注意

- 躯体が軽量鉄骨の場合は、躯体取付用ねじと同等サイズのドリリングねじ(現地手配)を使用してください。

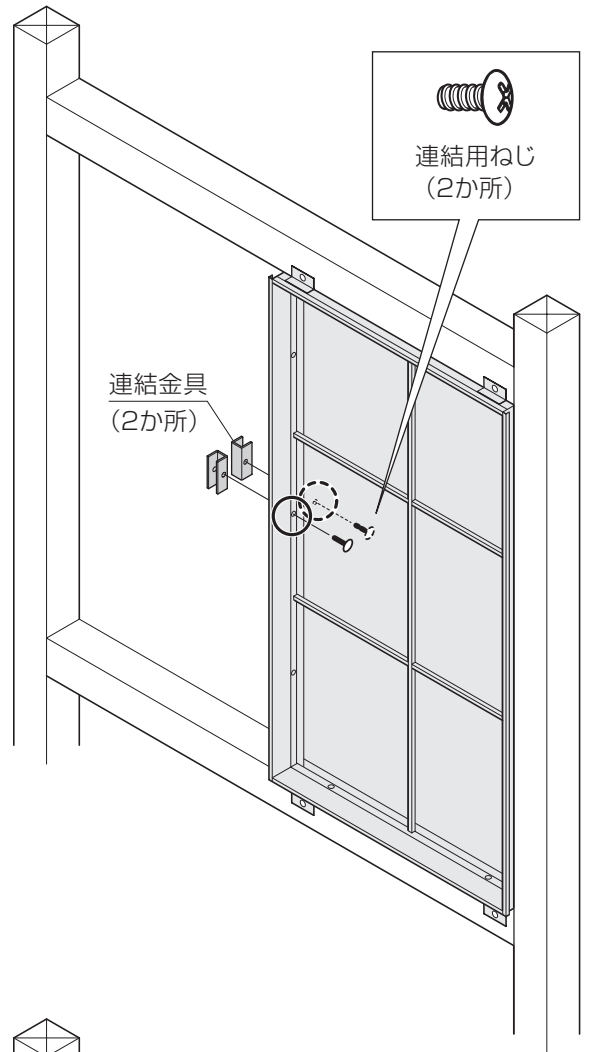
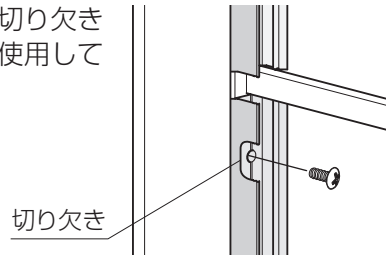
本体取付精度



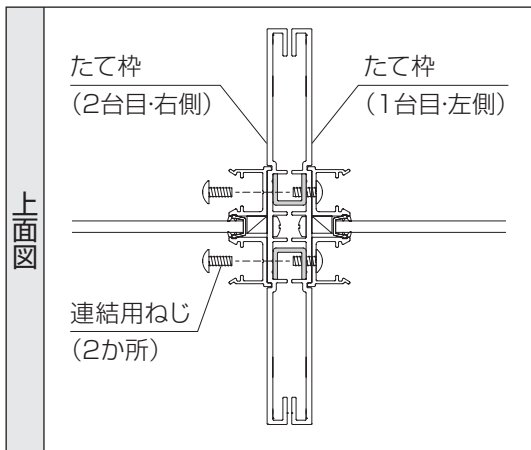
④ 左側のたて枠に連結金具を取り付ける。(2か所)



※たてカバー受けに切り欠きがある箇所の穴を使用してください。

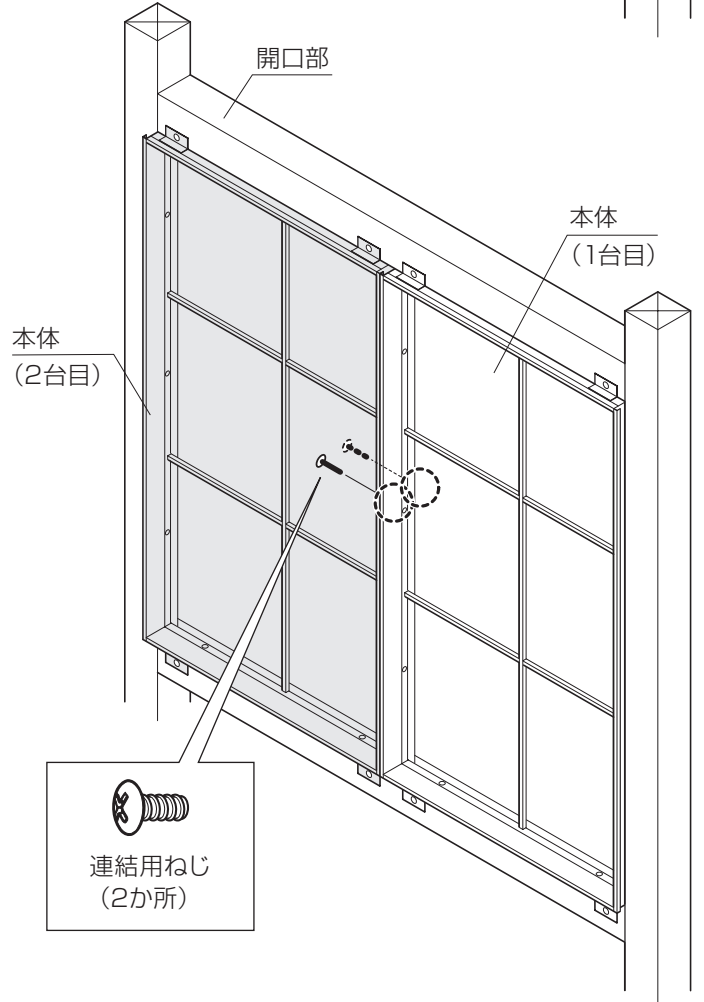


⑤ 2台目の本体を開口部に設置し、連結金具で1台目とねじ固定する。(2か所)



ご注意

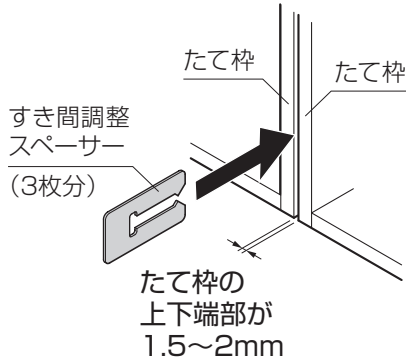
- 本体の向きが全て同じになるように設置してください。
- ※ガラスラベルが同じ向きになるように設置すると、本体の向きが全て同じになります。



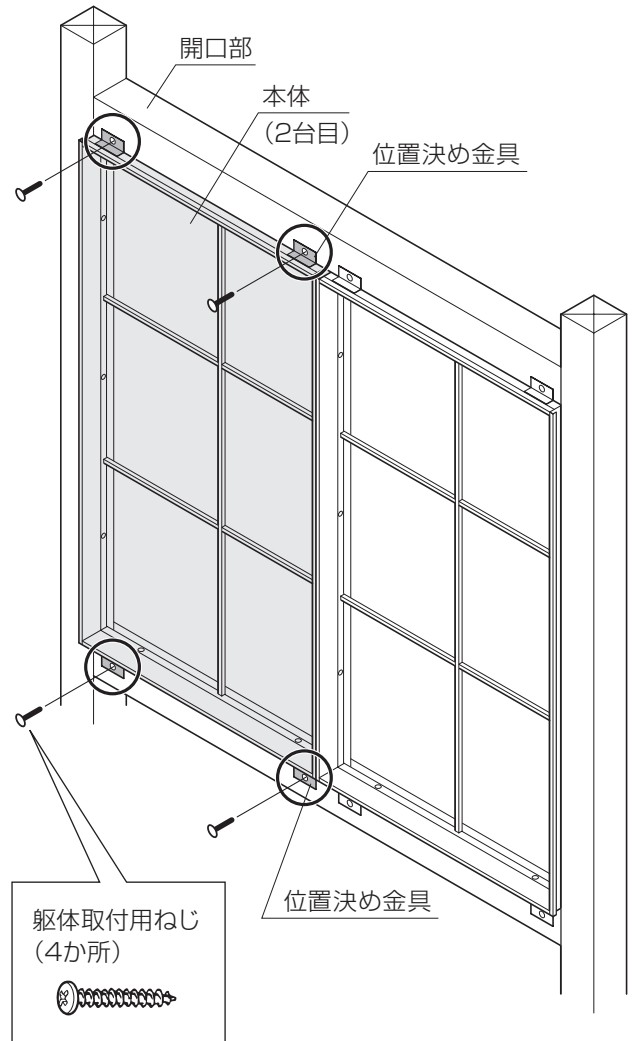
⑥ 位置決め金具を開口部にねじ固定する。(4か所)

お願い

- 下枠、上枠の順に固定してください。
 - ねじ固定する際に、1台目と2台目のたて枠端部の間に「すき間調整スペーサー」1.5mm分(3枚分)を挟みながら固定してください。
 - ※1台目と2台目の上枠同士、下枠同士それぞれの「通り」を確認し、本体上下端部のたて枠間のすき間が1.5~2mmになるように固定してください。
- 連結材の取り付けに影響するおそれがあります。

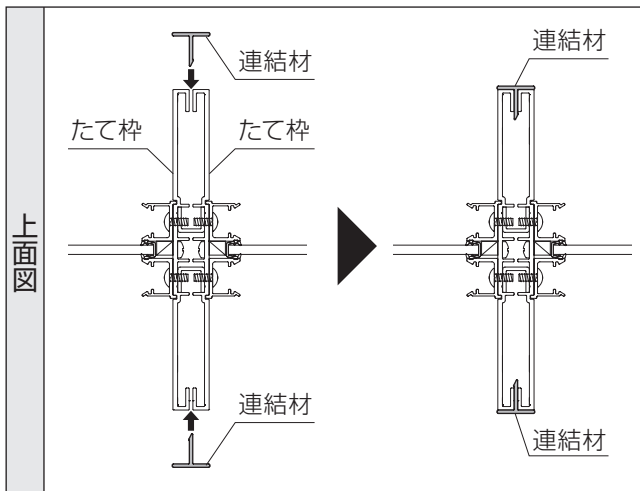


- 位置決め金具の固定は、本体の仮止めのために行います。そのため、本体固定後の手順⑩で、位置決め金具の固定ねじは取り外します。



⑦ たて枠の連結部分に連結材を貼り付ける。

- ※両面テープのはく離紙をはがしてから取り付けてください。



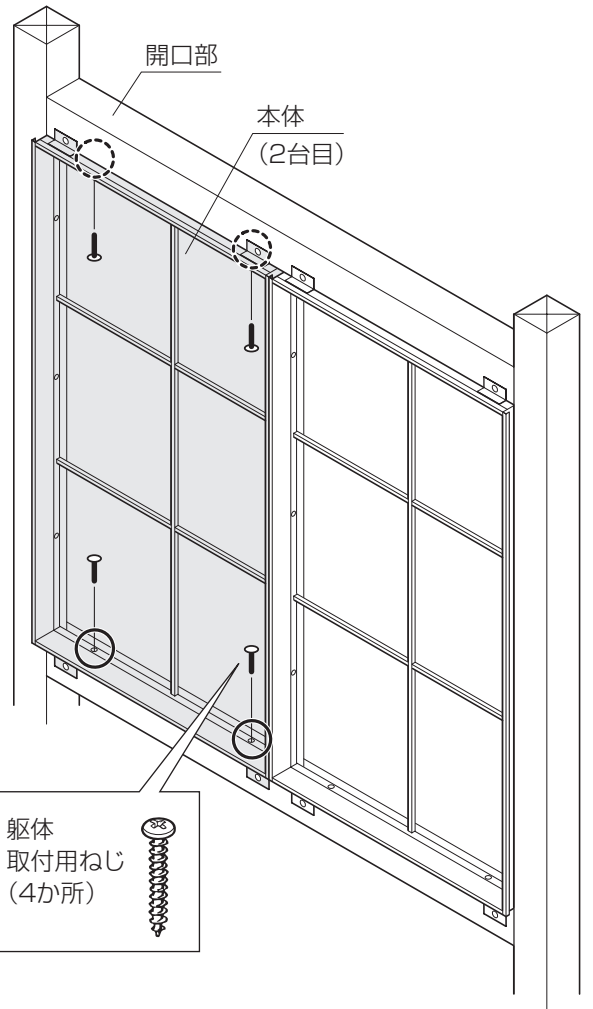
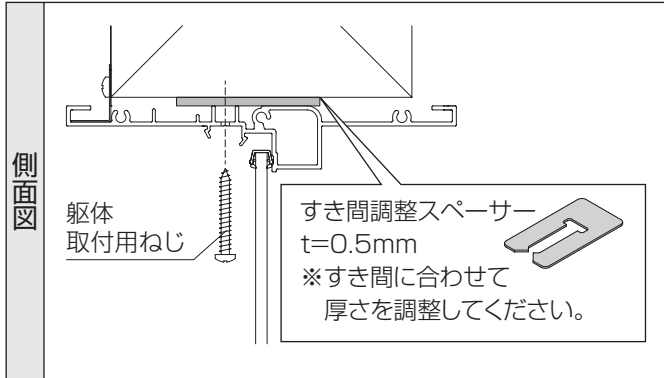
ご注意

- 連結材の上下端が本体より突出しないように取り付けてください。

- ⑧ 本体を開口部にねじ固定する。(上下枠4か所)
 ※3台目は以降を設置する場合も、③～⑦と同じ手順で連結してください。

お願い

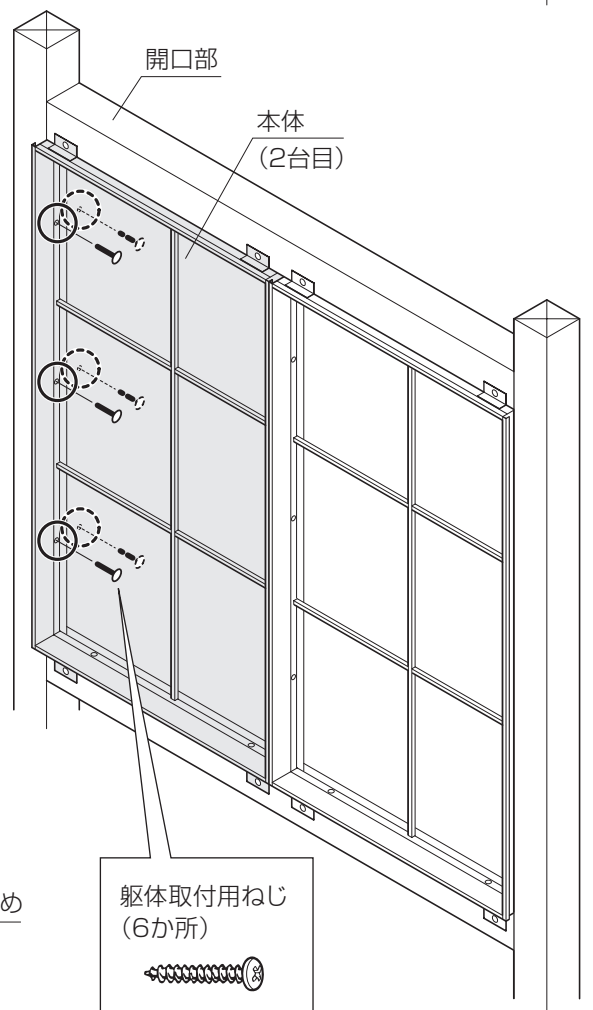
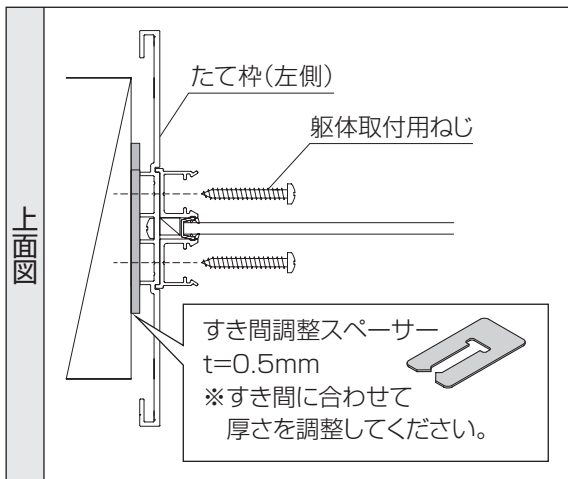
- 下枠、上枠の順に固定してください。
- 上枠と開口部にすき間がある場合は、「すき間調整スペーサー」を差し込んでから固定してください。



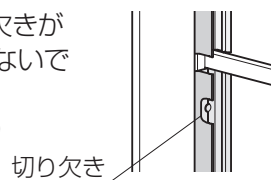
- ⑨ 本体を開口部にねじ固定する。(左側たて枠6か所)
 ※固定数は、Hサイズ、開閉形式によって異なります。

お願い

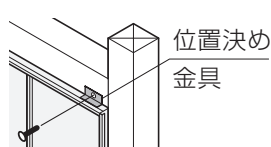
- たて枠は正面側と背面側、両面を固定してください。
- たて枠と開口部にすき間がある場合は、「すき間調整スペーサー」を差し込んでから固定してください。



※たてカバー受けに切り欠きがある箇所の穴は使用しないでください。
 (連結時に使用します。)



- ⑩ 仮止めとして固定した位置決め金具のねじを取り外す。(1台につき4か所)
 ※取り外さないと、内壁材の施工に影響するおそれがあります。



4 カバーの取り付け

取り付け後のカバーを取り外すと製品が破損するおそれがあるため、取り付け前に下記項目を確認してください。

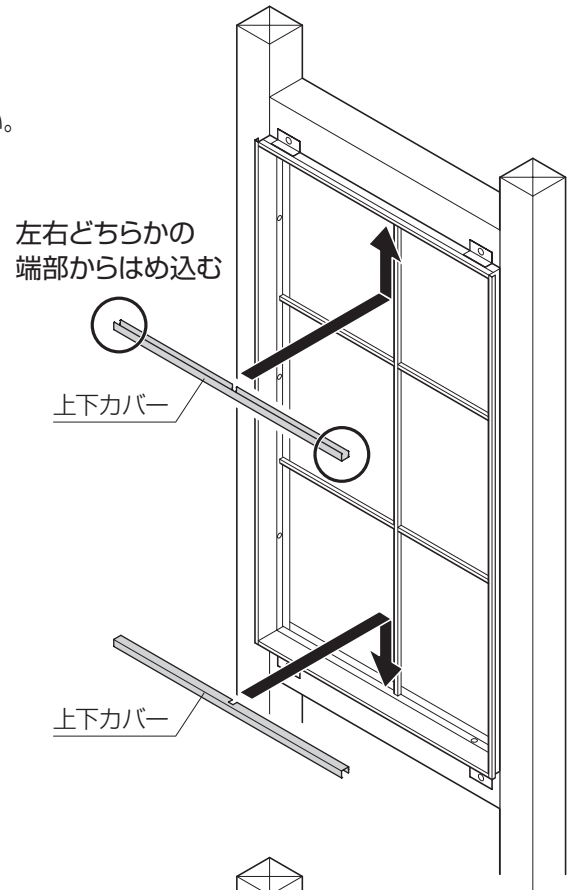
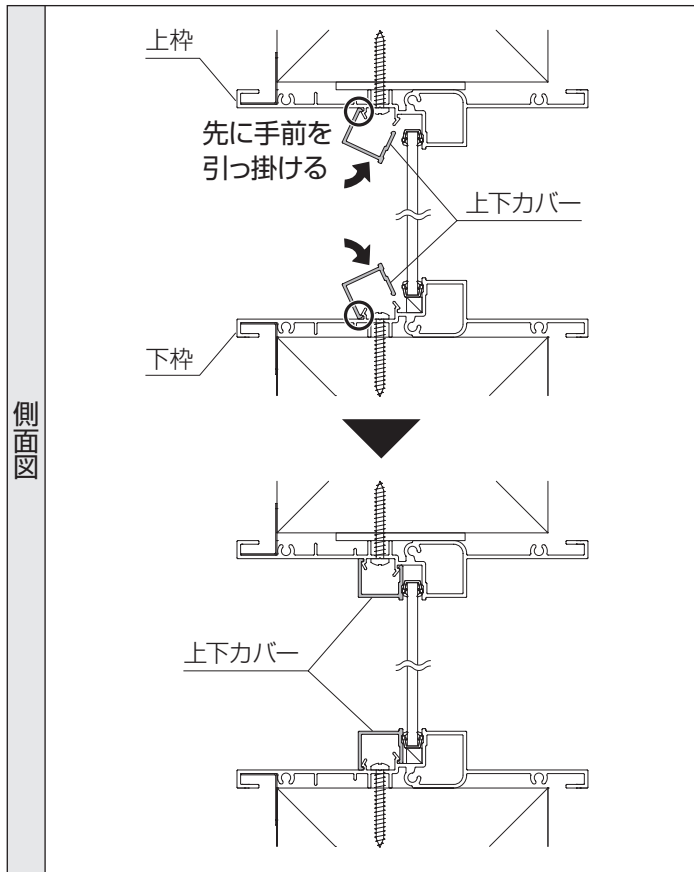
- 躯体取付用ねじが全て固定されていること。
- 製品にすき間やガタつきがないこと。
- 開き窓の開閉に異音などの異常がないこと。

FIX窓の場合

※「開き窓の場合」は次ページを参照してください。

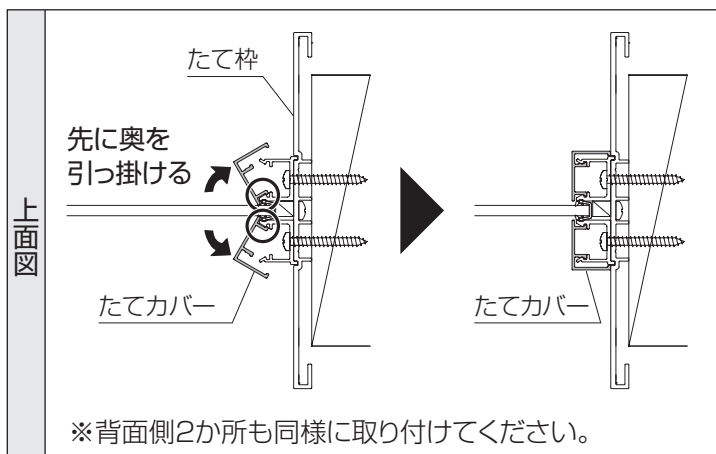
① 上下枠に上下カバーを取り付ける。(2か所)

※カバーは左右どちらかの部材端部からはめ込んでください。固くはまらない場合は、当て木をしてハンマーで叩いてはめ込んでください。

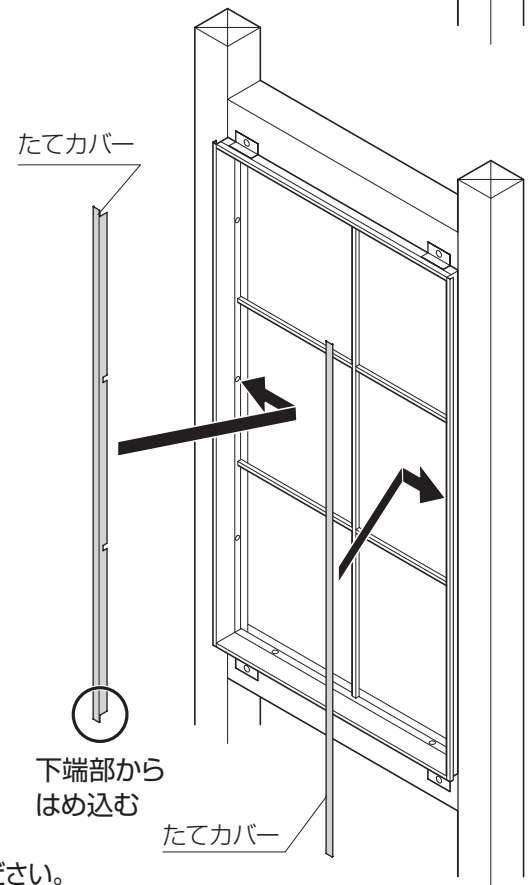


② たて枠にたてカバーを取り付ける。(4か所)

※カバーは部材下端部からはめ込んでください。固くはまらない場合は、当て木をしてハンマーで叩いてはめ込んでください。



※背面側2か所も同様に取り付けてください。



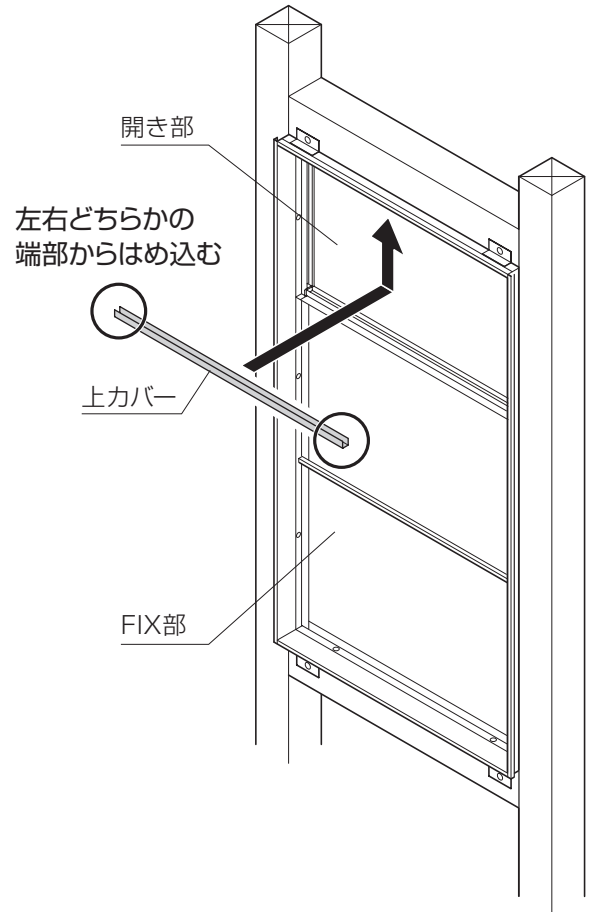
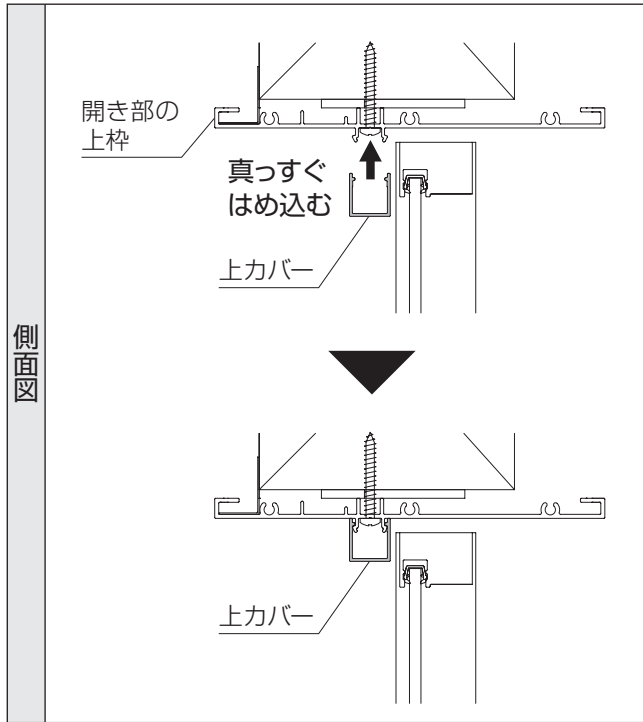
ご注意

● カバーの両端で本体部材を傷つけないよう、ご注意ください。

開き窓の場合

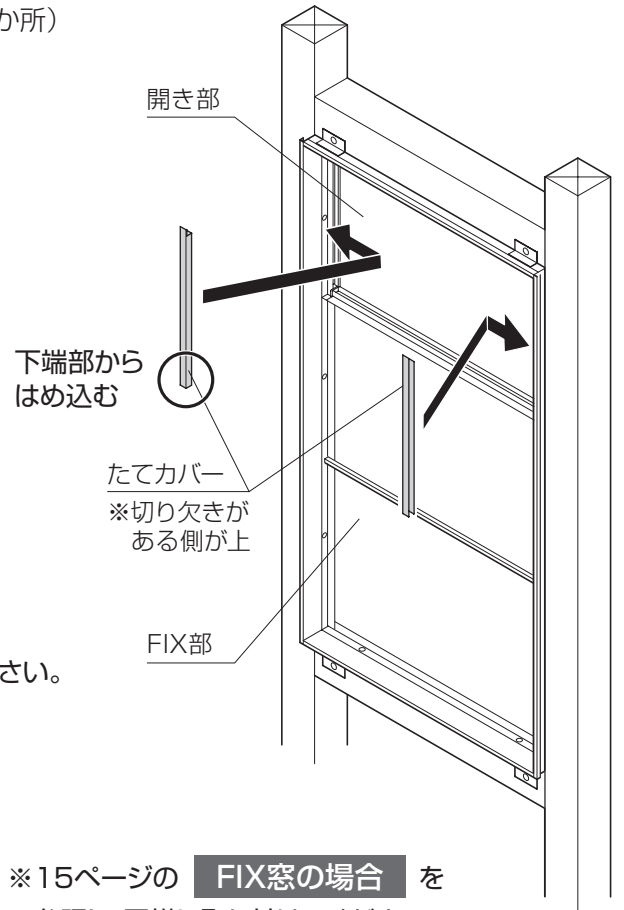
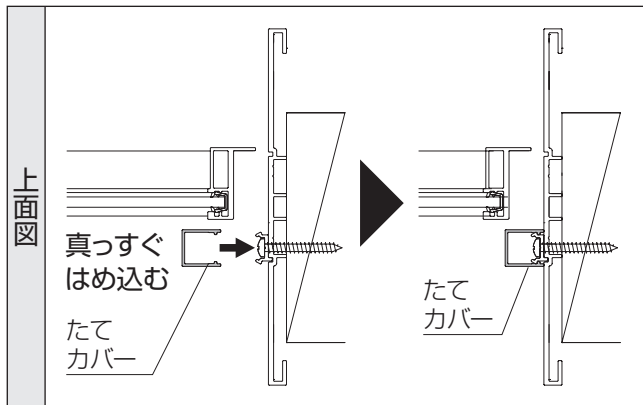
- ① 開き部の上枠に、上カバー（開き部）を取り付ける。（1か所）

※カバーは左右どちらかの部材端部からはめ込んでください。固くはまらない場合は、当て木をしてハンマーで叩いてはめ込んでください。



- ② 開き部のたて枠に、たてカバー（開き部）を取り付ける。（2か所）

※カバーは部材下端部からはめ込んでください。固くはまらない場合は、当て木をしてハンマーで叩いてはめ込んでください。



ご注意

- カバーの両端で本体部材を傷付けないよう、ご注意ください。

- ③ FIX部の上下枠に、上下カバー（FIX部）を取り付ける。（2か所）

- ④ FIX部のたて枠に、たてカバー（FIX部）を取り付ける。（4か所）

※15ページの **FIX窓の場合** を参照し、同様に取り付けてください。

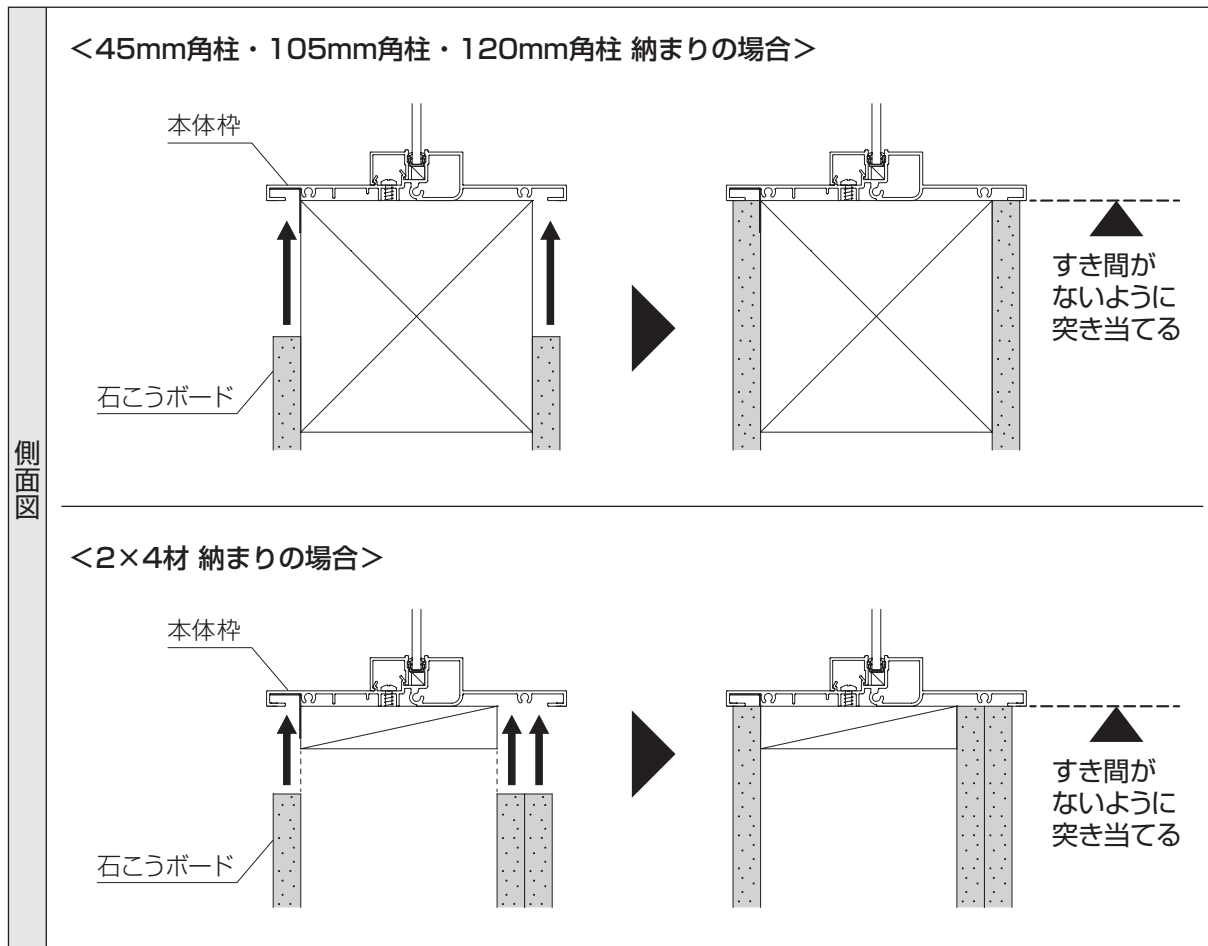
5 内壁材の取り付け

開口部のまわりに内壁材を取り付ける。

お願い

- 位置決め金具の仮止め用ねじを取り外したか、事前に確認してください。
- 本体枠と内壁材の間にすき間が生じないように、内壁材を本体枠に突き当てながら固定してください。

※下図は下枠部です。上・たて枠部も同様にすき間がないように内壁材を取り付けてください。



取扱説明編

取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための注意事項やお手入れ方法などを記載しています。説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお読みになってからお使いください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意

傷害や財産損害が発生するおそれがある内容

お守りいただく内容を次の図記号で説明



してはいけない内容



実行しなければならない内容

警告



製品にぶらさがる、もたれかかる、よじ登るなど無理な力や衝撃を与えない
落下し、けがや破損のおそれがあります。



製品のすき間に、頭や手を入れない
小さなお子様であれば、頭などが挟まるおそれがあり、重大な事故につながります。



事故防止のため施工は必ず専門業者がおこなう
落下し、けがや破損のおそれがあります。

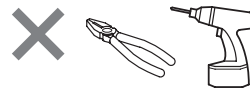


施工した製品が緩んだり、がたついたときは、直ちに使用を中断し、専門業者に修理を依頼する
落下し、けがや破損のおそれがあります。

注意



お客様による修理・改造・分解はしない
予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



ストーブなどの熱源を近づけたり、熱風を直接あてたりしない
変形するおそれがあります。

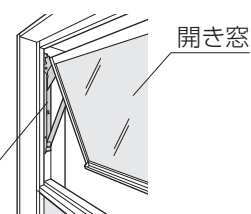


開き窓のフリクションステーに潤滑剤や洗剤を塗布しない
障子を任意の位置で固定できなくなるおそれがあります。



開き窓の開閉はゆっくりおこなう
急な開閉をすると、けがや破損のおそれがあります。

フリクション
ステー



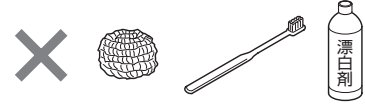
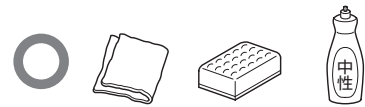
薬品が付着したときは、すみやかに除去する
薬品の種類や放置時間によっては、変色・劣化の原因となります。

お手入れ

長期間清掃せず放置すると、表面に付着した汚れが腐食やシミ、塗装剥がれの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

お手入れ方法

- お手入れは、柔らかい布やスポンジなど、製品に傷がつかないモノを使用し、から拭きをしてください。
金属たわしなどでこすると、表面に傷がつき、腐食のもとになりますので使用しないでください。
また、から拭きでとれない場合は、水拭きまたは中性洗剤でふき取り、中性洗剤を使用した後は水拭きし、その後に乾いた布でから拭きしてください。



- 漂白剤、硫酸、塩酸などは絶対に使用しないでください。
変色や光沢が無くなるおそれがあります。
- 塗装面にセロテープ、ガムテープを貼らないでください。
剥がした後、汚れが残るおそれがあります。



お手入れの注意点

- お手入れは、定期的に行ってください。（目安は年間3～4回程度となります）
また、海岸地帯や交通量の多い道沿いは、塩分や排気ガスによる腐食やシミが進みやすいので、回数を増やしてこまめにお手入れしてください。
- ひどい汚れを落とす場合でも、強酸・強アルカリ・シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、または石油類などを使用しないでください。変色、劣化の原因になることがあります。



製品保証書

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無償で修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お求めの取扱い店、または当社窓口にご相談ください。

●保証期間

通常的环境下において、製品の施工完了日から起算して1年間とします。

●保証内容

取扱説明書、またはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無償で修理いたします。

●免責事項(保証期間内でも、次の様な場合には、有償での修理となります。)

- ① 当社の指示のない第三者の加工、組み立て、施工(基礎工事、取り付け工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、「海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食」、「台所用合成洗剤(液性:中性)以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食」、「工事中の養生不良に起因する変色や腐食」、「現場加工などによる納まり、仕上げの不備」など)
- ② 表示された製品の性能を超えた、性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する、製品の不具合
- ④ 製品の経年劣化(変質、変色など)、またはこれらに伴うサビ・カビ、またはその他の不具合
- ⑤ 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、またはその他の不具合(例えば、「塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食」、「異常な高温・低温・多湿による、膨張・ひび割れ・伸縮・ねじれ」などの不具合)
- ⑥ 製品、または部品の材料特性に伴う現象(例えば、塗装工程での若干の色ムラや柄のバラつきなど)
- ⑦ 天災、その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では、予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合・虫害
- ⑩ 引き渡し後の調整不備や適切な維持管理を行わなかったことによる不具合、および引き渡し後の移動・移設による損傷、または故意による不具合
- ⑪ お客様もしくは、第三者の故意、過失、不当な組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取り外しを含む)に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する、破損や不具合
- ⑭ 製品の構成部材の一部でも、当社が供給した以外のモノによる不具合
- ⑮ 施工記録表の提出がない場合、または施工記録表に記入漏れや虚偽の記載がある場合
- ⑯ 製品の汚れやサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
- ⑰ 凍結による故障および損傷
- ⑱ 仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出が無かったもの
- ⑲ 離島または離島に準ずる遠隔地への出張を行う場合の出張に要する実費
- ⑳ 設置面の凹凸やそれに伴うメンテナンス作業
- ㉑ 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水の水素基準に適合しない水を供給したことによる不具合
- ㉒ 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷
- ㉓ 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの

*保証期間経過後の修理、交換などは有償での対応といたします。

*修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、ご購入された販売店様、または当社窓口までお問い合わせください。

*この「製品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社窓口までお問い合わせください。

*当保証は日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

施工記録表(保守のための記録)

製品名	電話番号
工事名	設置年月日
工事店名	納品台数

お問い合わせ先

アルメタックス株式会社
〒531-6130 大阪市北区大淀中1丁目1番30号
梅田スカイビルタワーウエスト30階
<https://almetaxstore.com/pages/contact-us>



関連商品は
アルメタックスストアより
<https://almetaxstore.com/>



日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては適用されないものとします。発行日：2023.11